

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590017001	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (L1~L6_F(独2)) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Target students	L1-6 F1-3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamatetsu mrd.biglobe.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	ドイツ語はインド・ヨーロッパ語と呼ばれる語族に属する西ゲルマン語で、他に主な言語として英語がある。同じ語族の英語の知識を参考にしながら授業を進める。私のドイツ在住・通訳体験などのエピソードを授業に盛り込む。		
授業到達目標/Course goals	ドイツ語文を人称変化や格変化にとらわれず、滑らかに発話すること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	小テストと定期試験で70% (小テスト50%、定期試験50%)そして統一試験30%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	何度も発音すればするほどドイツ語は身につきます。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『気分はドイツ』(Deutsch macht Spa?!) 著者: 本郷健治 他、(株)三修社		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	独和辞典持参。古本でもかまいません。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	ドイツ語を通してヨーロッパへ目を向けよう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ビデオでドイツの若者達を紹介。ドイツ語のアルファベットの練習。ドイツ語で自己紹介。		

第2回	動詞の現在人称変化（1） sein, habenの現在人称変化、定形の位置。
第3回	名詞の性。性に応じた冠詞の格の用法。
第4回	複数形の定冠詞の格変化、男性弱変化名詞。
第5回	動詞の現在人称変化（2） 特に注意すべき動詞。
第6回	人称代名詞の3格、4格の用法。
第7回	定冠詞類、不定冠詞類、疑問詞の1格から4格までの用法。
第8回	定形の位置。並列の接続詞。
第9回	従属の接続詞。主文と副文。
第10回	2格・3格・4格と結びつく前置詞。
第11回	3格または4格と結びつく前置詞。特定の前置詞と結びつく動詞。
第12回	話法の助動詞の人称変化と用法。
第13回	副文中の話法の助動詞。
第14回	動詞の3基本形。
第15回	過去形で日記を書く。
第16回	総復習。

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590017002	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (G1 ~ G3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	葉柳 和則 / Kazunori Hayanagi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	葉柳 和則 / Kazunori Hayanagi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	葉柳 和則 / Kazunori Hayanagi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化]総合教育研究棟3F 33番講義室		
対象学生 (クラス等) / Target students	1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hayanagi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	多文化社会学部2号館 (総合教育研究棟12F)		
担当教員TEL/Tel	819-2932		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日14:30-16:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	ドイツ語の基本を身に付ける		
授業到達目標/Course goals	ドイツ語検定5級合格		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents of the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	予習・復習の実行状況 (15%) 講義中の取り組み方 (15%) 定期試験1 (個別試験) (40%) 統一試験準拠試験 (30%) 統一試験とは「ドイツ語I」の履修者全員が受験する同一問題の試験のことです。多文化社会学部の学生は「ドイツ語I」に関しては統一試験に準拠した問題で試験を行います。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習、事後学習は必須。詳細は講義中に指示する。		
キーワード/Key word	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法、ドイツ語検定		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	大野寿子『Bumerang: Re (ブーメラン・エルエー)』朝日出版社 (2016) 独和辞典については講義中に指示 (自分の判断で買わないこと)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	各回に指示する自宅学習をきちんとこなすことが何より重要です。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ドイツ語・オランダ語・英語の関係 アルファベット 発音の規則
第2回	ドイツ語のあいさつ 人称代名詞と動詞の人称変化
第3回	格変化(1格と4格)
第4回	haben・sein動詞、語順、決定疑問文
第5回	不規則動詞
第6回	複数形と3格
第7回	前置詞
第8回	副文
第9回	格変化(3格と4格)
第10回	再帰動詞
第11回	2格
第12回	定冠詞類
第13回	不定冠詞類
第14回	会話練習 テスト対策
第15回	まとめ テスト対策
第16回	試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590017003	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (P1・P2_F(独1)) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	仲井 幹也 / Nakai Mikiya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	仲井 幹也 / Nakai Mikiya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	仲井 幹也 / Nakai Mikiya		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Target students	P__F		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	m-nakai nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	経済学部本館5 2 4 研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6399		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	授業のねらい: ドイツ語の初級文法を現在時制 (+ 未来形) の範囲内で学び、応用できるようにする。簡単な挨拶、数の表現等の日常生活で必要となるごく初歩的な会話もできるようにする。		
授業到達目標/Course goals	やや盛りだくさんの教科書なので、全体の内容の最も基本的な六割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	統一試験30点、個別試験70点の筆記試験で評価しますが、授業への参加状況も重視します。(筆記試験総点×授業への参加状況0.8?1.2=成績) 従って授業をおろそかにする人は、試験の合計が60点を越えても単位が取れない場合があります。みんなしっかり予習してきてください。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	小島 / 仲井 『やあ、みんな!』 同学社 (なお初回時に辞書の説明をするので、それまで辞書は買わないでください。例年こちらが勧める以外の辞書を買って、後で困る人が出ています。参考書も特に買う必要はありません。)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	辞書の説明、発音
第2回	発音、基数と西暦の読み方、現在人称変化、疑問詞
第3回	定冠詞、不定冠詞、格の用法
第4回	不規則動詞、命令形
第5回	定冠詞類、不定冠詞類、人称代名詞
第6回	名詞の複数形
第7回	nichtとkein、目的語の語順
第8回	前置詞
第9回	形容詞と形容詞の名詞化
第10回	話法の助動詞、未来形
第11回	序数と日付の表現
第12回	分離動詞、非分離動詞
第13回	従属接続詞と並列接続詞
第14回	間接疑問文
第15回	ランデスクンデ
第16回	まとめと定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590017004	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (E1~E6) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Target students	1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ssakamoto tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000 (長崎外国語大学代表)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	ドイツ語の基本を身に付ける		
授業到達目標/Course goals	100程度の語数からなる自己紹介・人物紹介ができる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	宿題(20%) 講義中の取り組み方(10%) 定期試験(個別)(40%) 統一試験(30%) 統一試験とは「ドイツ語I」の履修者全員が受験する同一問題の試験のことです。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	教科書付属の別冊問題集を宿題とする。		
キーワード / Key word	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	新倉真矢子(他著)『ゲナウ! コミュニケーションのドイツ語 ノイ』 第三書房 ISBN978-4-8086-1190-3 独和辞典は下記のを推薦します。 ・同学社『アポロン独和辞典』 ・カシオ電子辞書・追加コンテンツXS-SS03(『アクセス独和辞典』第3版)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	教科書に付属している別冊問題集から宿題を出します。毎回の宿題の正答率を全体成績の20%とします。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ドイツ語のあいさつ、アルファベット 【人と挨拶ができる】
第2回	一人称と二人称の動詞の人称変化 【専攻や職業・国籍が言える、出身地・居住地を尋ね、答えることができる】
第3回	三人称の動詞の人称変化 【人の出身地・居住地・職業・国籍などについて説明できる、短いテキストを読む】
第4回	復習（現在人称変化）
第5回	名詞の性、発音の規則 【身の回りの物の名前を正しい発音で挙げるができる】
第6回	名詞の性、不定冠詞・否定冠詞の1格、複数形、1?10までの数字 【身の回りの物について説明できる】
第7回	名詞の性、定冠詞の1格、人称代名詞の1格、形容詞（述語的用法） 【身の回りの物について説明できる】
第8回	復習（冠詞の変化）、2・3・4格の冠詞、人称代名詞の1?4格
第9回	不規則変化動詞の人称変化
第10回	会話練習（ロールプレイ） 【レストランで注文ができる】
第11回	文法補足（動詞の位置、疑問詞、Ja, Nein, dochの使い方）、11から100までの数字
第12回	所有冠詞 【家族の紹介ができる、家族について話すことができる】
第13回	原形不定詞を使う表現 【自分の趣味や余暇活動が表現できる】
第14回	人物を紹介するテキストを読む、自己紹介の文章を書く、クラスメートについての紹介文を書く
第15回	まとめ（統一試験の準備）
第16回	試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590017005	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (D1・D2_K1~K3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kiyohara_akiyo_yahoo.co.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業前後の休み時間。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	ドイツ語の初級文法を身につけ、単純な表現であれば理解し、自分でも表現できるようになることが第一のねらいです。 さらに、言語学習を単なる試験科目としてではなく、異文化との関わりや他者理解 (あるいは自己理解) についての基本的視座を形成するための有力な手段と捉え、積極的に取り組めるようになってもらいたいと考えてます。		
授業到達目標 / Course goals	ドイツ語文法の基本的かつ重要な基礎を身に付ける。課外の自習や今後勉強を続ける場合に自分で調べ、考えることができるようになるための下地を作る。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	統一試験3割・定期テスト7割で評価します。 定期テストの7割分に関しては、授業への取り組みや指定を守っているか (提出物等) によって加減します。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	森公成、渡辺広佐『クヴェレ・ドイツ文法』(同学社)。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	特にありませんが、紙媒体・電子は問いませんので独和辞典を持参してください。(第1回目の授業時はまだ用意してなくて大丈夫です。)		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	上にも書いていますが、間違いや失敗は恐らなくて大丈夫です。 授業内容に関する直接の質問のほかにも、不安なことがあれば抱え込まずに相談してください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の説明、ドイツ語のアルファベット、あいさつ
第2回	発音
第3回	発音続き、第1課(主語になる人称代名詞等)
第4回	第1課続き(動詞の現在人称変化等)
第5回	第1課続き(sein, haben, werden等)
第6回	第2課(名詞の性、定冠詞、名詞の格等)
第7回	第2課続き(不定冠詞等)
第8回	第3課(複数形、男性弱変化名詞等)
第9回	第4課(動詞の現在人称変化2等)
第10回	第4課続き(命令等)
第11回	第5課(冠詞類等)
第12回	第5課続き(人称代名詞等)
第13回	第6課(前置詞等)
第14回	第6課続き(従属接続詞、副文等)
第15回	前期復習、確認
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590017006	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (M4~M6) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	目 正勝 / Satuka Masakatu		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Target students	M4?6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mksakka xqb.biglobe.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問等はメールにて随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	(ドイツ語共通シラバスから) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、ほぼすべての初級文法事項を理解する(接続法も含む)。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な発音で読める。 ・初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。 ・簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	共通試験(30%)、定期試験(約70%)、および平素の学習成績、授業への参加状況を考慮して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「新生ドイツ語文法 V6」 在間 進 著、朝日出版社		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	文字と発音、アルファベットの名称を覚える		

第2回	発音練習の続き、第1課、人称代名詞、動詞の現在人称変化
第3回	第1課の続き、文の作り方、語順など、練習問題
第4回	第2課、文法上の性と格（名詞）
第5回	第2課の続き、名詞と格変化、練習問題
第6回	第3課、定冠詞類、不定冠詞類
第7回	第3課の続き、所有冠詞、否定冠詞、練習問題
第8回	第4課、不規則動詞の現在人称変化、命令形など
第9回	第4課の続き、動詞の現在人称変化の総まとめ、練習問題
第10回	第5課、前置詞の格支配など
第11回	第5課の続き、前置詞の融合形、練習問題
第12回	第6課、名詞の複数形など
第13回	第6課の続き、冠詞類の格変化の総まとめ、練習問題
第14回	第7課、形容詞の格変化、人称代名詞、練習問題
第15回	第8課、話法の助動詞、未来形、練習問題
第16回	前期末試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590017007	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (T1~T5) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	竹田 桜 / Sakura Takeda		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生(クラス等) / Target students	T1~T5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka@gmail.com(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	(ドイツ語共通シラバスより) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、ほぼすべての初級文法事項を理解する。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。 あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Course goals	・発音の基本ルールを理解し、正確な発音で読める。 ・初級文法事項に基づき、簡単な読解、作文、聞き取り、会話ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons(1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	小テスト15% 授業への参加姿勢(積極性、授業参加度)15% 定期試験40% 統一試験30% *統一試験とは「ドイツ語I」の履修者全員が受験する同一問題の試験です。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	(事前学習) 授業前に次の授業範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておくこと。指示された部分の音読をしておくこと。 (事後学習) 基本的に毎回小テストを行う予定です。その前の回の授業内容を問うものになりますので、しっかりと復習を行ってください。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	上野成利(他)『パノラマ 初級ドイツ語ゼミナール[三訂版]』白水社		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	・やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。 ・再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。 ・独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業オリエンテーション Lektion 0. 発音(1)
第2回	Lektion 0. 発音(2)
第3回	Lektion 1. 動詞の現在人称変化(1)
第4回	Lektion 1. 動詞の現在人称変化(2)
第5回	Lektion 2. 名詞の性 / 冠詞の格変化(1)
第6回	Lektion 2. 名詞の性 / 冠詞の格変化(2)
第7回	Lektion 3. 不規則変化動詞 / 命令形(1)
第8回	Lektion 3. 不規則変化動詞 / 命令形(2)
第9回	Lektion 4. 定冠詞類・不定冠詞類
第10回	Lektion 5. 複数形 / 人称代名詞
第11回	Lektion 6. 前置詞の格支配(1)
第12回	Lektion 6. 前置詞の格支配(2)
第13回	Lektion 7. 形容詞の格変化(1)
第14回	Lektion 7. 形容詞の格変化(2)
第15回	文法補足ならびに統一試験の準備
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590017008	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (M1~M3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	目 正勝 / Satuka Masakatu		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Target students	M1?3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mksakka xqb.biglobe.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問等はメールにて随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	(ドイツ語共通シラバスから) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、ほぼすべての初級文法事項を理解する(接続法も含む)。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な発音で読める。 ・初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。 ・簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	共通試験(30%)、定期試験(約70%)、および平素の学習成績、授業への参加状況を考慮して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「新生ドイツ語文法 V6」 在間 進 著、朝日出版社		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	文字と発音、アルファベットの名称を覚える		

第2回	発音練習の続き、第1課、人称代名詞、動詞の現在人称変化
第3回	第1課の続き、文の作り方、語順など、練習問題
第4回	第2課、文法上の性と格（名詞）
第5回	第2課の続き、名詞と格変化、練習問題
第6回	第3課、定冠詞類、不定冠詞類
第7回	第3課の続き、所有冠詞、否定冠詞、練習問題
第8回	第4課、不規則動詞の現在人称変化、命令形など
第9回	第4課の続き、動詞の現在人称変化の総まとめ、練習問題
第10回	第5課、前置詞の格支配など
第11回	第5課の続き、前置詞の融合形、練習問題
第12回	第6課、名詞の複数形など
第13回	第6課の続き、冠詞類の格変化の総まとめ、練習問題
第14回	第7課、形容詞の格変化、人称代名詞、練習問題
第15回	第8課、話法の助動詞、未来形、練習問題
第16回	前期末試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590017009	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (T6~T10) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	村上 浩明 / Murakami Hiroaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	村上 浩明 / Murakami Hiroaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	村上 浩明 / Murakami Hiroaki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	murakami tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、ほぼすべての初級文法事項を理解する。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Course goals	ドイツ語の基礎的な力、とりわけ以下の5点を身につけることを目標とします。 1. ドイツ語の綴りの読み方を理解し、正しく発音できる。 2. ドイツ語の様々な動詞の人称変化および冠詞類の格変化のしくみを理解し、運用できる。 3. ドイツ語の基本語彙を用いて、自己や他者を簡単に紹介できる。 4. 平易なドイツ語の文章を読んだり聞いたりして、内容を理解できる。 5. ドイツ語の辞書を引けるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	平素の学習 (授業への積極的参加、小テスト、中間テストなど) 40%、定期試験 (個別試験) 30%、統一試験30%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	【事前学習】 ・授業中に指示された教科書の範囲を予習する。 【事後学習】 ・授業で練習した文を自宅でも繰り返し音読したり書いたりして暗唱する。 ・授業で扱ったテーマを自分で調べ、理解を深める。		
キーワード / Key word	ドイツ語文法		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	・赤澤元務 / 須藤勲 『フィール・エアフォルク! (Viel Erfolg!) —はじめてのドイツ語 (改訂版) —』、2018年、同学社 ・独和辞典 (紹介授業で紹介いたしますので、2回目以降の授業から持参してください。)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ではペア/グループで様々な演習を行いますので、積極的な態度で授業に臨んでください。 ・疑問点は遠慮なくその場で質問してください。 ・語学はとにかく声に出して学ぶことが肝心です。間違いを恐れず、積極的な発言を期待しています。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業のオリエンテーション、Lektion 0 (ドイツ語のつづりと発音、あいさつ、数字)
第2回	小テスト、Lektion 1 (動詞の現在人称変化)
第3回	Lektion 1 (動詞の現在人称変化)
第4回	小テスト、Lektion 2 (名詞の性と格)
第5回	Lektion 2 (名詞の性と格)
第6回	Lektion 2 (名詞の性と格)
第7回	小テスト、Lektion 3 (不規則動詞の現在人称変化)
第8回	Lektion 3 (不規則動詞の現在人称変化)
第9回	中間テスト、Lektion 4 (人称代名詞の格変化)
第10回	Lektion 4 (冠詞類)
第11回	Lektion 4 (冠詞類)
第12回	小テスト、Lektion 5 (前置詞、zu不定詞)
第13回	Lektion 5 (前置詞、zu不定詞)
第14回	Lektion 5 (前置詞、zu不定詞)
第15回	まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/28		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590019001	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (L1~L6_F(独2)) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Target students	L1-6 F1-3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamatetsu mrd.biglobe.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	ドイツ語はインド・ヨーロッパ語と呼ばれる語族に属する西ゲルマン語で、他に主な言語として英語がある。同じ語族の英語の知識を参考にしながら授業を進める。私のドイツ在住・通訳体験などのエピソードを授業に盛り込む。		
授業到達目標/Course goals	ドイツ語文を人称変化や格変化にとらわれず、滑らかに発話すること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	小テストと定期試験で70% (小テスト50%、定期試験50%)そして統一試験30%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	何度も発音すればするほどドイツ語は身につきます。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『気分はドイツ』(Deutsch macht Spa?!) 著者: 本郷健治 他、(株)三修社		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	独和辞典持参。古本でもかまいません。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	ドイツ語を通してヨーロッパへ目を向けよう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ビデオでドイツの若者達を紹介。ドイツ語のアルファベットの練習。ドイツ語で自己紹介。		

第2回	動詞の現在人称変化(1) sein, habenの現在人称変化、定形の位置。
第3回	名詞の性。性に応じた冠詞の格の用法。
第4回	複数形の定冠詞の格変化、男性弱変化名詞。
第5回	動詞の現在人称変化(2) 特に注意すべき動詞。
第6回	人称代名詞の3格、4格の用法。
第7回	定冠詞類、不定冠詞類、疑問詞の1格から4格までの用法。
第8回	定形の位置。並列の接続詞。
第9回	従属の接続詞。主文と副文。
第10回	2格・3格・4格と結びつく前置詞。
第11回	3格または4格と結びつく前置詞。特定の前置詞と結びつく動詞。
第12回	話法の助動詞の人称変化と用法。
第13回	副文中の話法の助動詞。
第14回	動詞の3基本形。
第15回	過去形で日記を書く。
第16回	総復習。

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590019002	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (G1 ~ G3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	葉柳 和則 / Kazunori Hayanagi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	葉柳 和則 / Kazunori Hayanagi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	葉柳 和則 / Kazunori Hayanagi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化] 総合教育研究棟 3F 33番講義室		
対象学生 (クラス等) / Target students	多文化社会学部1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hayanagi_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	多文化社会学部2号館 (総合教育研究棟12F)		
担当教員TEL/Tel	819-2932		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日14:30-16:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	ドイツ語の基本を身に付ける		
授業到達目標/Course goals	ドイツ語検定4級合格		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents of the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	予習・復習の実行状況 (15%) 講義中の取り組み方 (15%) 定期試験 (個別) (40%) 統一試験 (30%) 統一試験とは「ドイツ語II」の履修者全員が受験する同一問題の試験の事です。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法、ドイツ語検定		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	大野寿子 『Bumerang: Re (ブーメラン・エルエー)』 朝日出版社 (2016) 独和辞典については講義中に指示 (自分の判断で買わないこと)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp 希望があれば、ハード面、ソフト面で最適解を探る。		
備考 (URL) / Remarks (URL)	http://h-semi.com/		
学生へのメッセージ / Message for students	各回に提示する課題にきちんと取り組むことが何より大切です。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	zu不定詞
第2回	分離動詞
第3回	話法の助動詞
第4回	過去形
第5回	現在完了形
第6回	受動態
第7回	形容詞の格変化
第8回	比較級と最上級
第9回	関係代名詞
第10回	命令形
第11回	接続法
第12回	補足練習1
第13回	補足練習2
第14回	補足練習3
第15回	まとめ 試験対策
第16回	試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590019003	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (P1・P2_F(独1)) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	仲井 幹也 / Nakai Mikiya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	仲井 幹也 / Nakai Mikiya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	仲井 幹也 / Nakai Mikiya		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Target students	P__F		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	m-nakai nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	経済学部本館5 2 4 研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6399		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	すべての時制でドイツ語の初級文法を学び、平易な文章であれば、辞書さえ使えば自分ひとりで読めるようにする。また道順の説明、序数の表現等の日常生活で必要となるごく初歩的な表現もおぼえる。授業中の質問に対する答え、練習問題への解答は、そのつど授業への参加状況 (0.8~1.2) に反映させます。		
授業到達目標/Course goals	やや盛りだくさんの教科書なので、全体の内容の最も基本的な六割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	共通試験30点、個別試験70点の筆記試験で評価しますが、授業への参加状況も重視します。(筆記試験総点×授業への参加状況0.8~1.2=成績) 従って授業をおろそかにする人は、試験の合計点が60点を越えても単位が取れない場合があります。みんなしっかり予習してきてください。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	小島 / 仲井 『やあ、みんな!』 同学社		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	動詞の三基本形、過去		

第2回	現在完了
第3回	過去完了、未来完了
第4回	再帰動詞
第5回	zu不定詞
第6回	esの用法
第7回	比較
第8回	受動態
第9回	関係代名詞
第10回	指示代名詞
第11回	不定関係代名詞、関係副詞
第12回	接続法（1）
第13回	接続法（2）
第14回	ランデスキュンデ
第15回	総復習
第16回	総復習と定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590019004	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (E1~E6) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Target students	1年次		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ssakamoto tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-840-2000 (長崎外国語大学代表)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業前後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	ドイツ語の基本を身に付ける		
授業到達目標 / Course goals	時事問題に関する文章の読解、ドイツ語検定4級合格		
知識・技能以外に、この授業を通して身に付けて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	宿題 (20%) 講義中の取り組み方 (10%) 定期試験 (個別) (40%) 統一試験 (30%) (12月のドイツ語技能検定の結果に応じて加点します。) 共通試験とは「ドイツ語I」の履修者全員が受験する同一問題の試験のことです。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	教科書付属の別冊問題集を宿題とする。		
キーワード / Key word	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法、ドイツ語検定		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	新倉真矢子 (他著) 『ゲナウ! コミュニケーションのドイツ語』 第三書房 独和辞典は下記のを推薦します。 ・同学社 『アポロン独和辞典』 ・カシオ電子辞書・追加コンテンツXS-SS03 (『アクセス独和辞典』第3版)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	教科書に付属している別冊問題集から宿題を出します。毎回の宿題の正答率を全体成績の20%とします。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ドイツ語Iの復習、命令形 【人を何かに誘える】
第2回	話法の助動詞 【休暇の予定が言える】
第3回	3格を使う表現、前置詞 zu + 3格
第4回	3格支配の前置詞 (an, bei, von・・・bis) 【予定について書かれたテキストが読める】
第5回	3格支配の前置詞?、3・4格支配の前置詞
第6回	分離動詞、非分離動詞
第7回	時間の表現、再帰表現 【自分の1日の行動が表現できる、時刻が言える】
第8回	不定詞
第9回	過去形、現在完了形
第10回	接続詞 【過去のことについて書かれたテキストが読める】
第11回	比較級・最上級、非人称表現 【天候に関する話ができる】
第12回	関係代名詞
第13回	読解? 【時事問題に関するテキストが読める】
第14回	読解? 【時事問題に関するテキストが読める】
第15回	まとめ(統一試験の準備)
第16回	試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590019005	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (D1・D2_K1~K3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kiyohara_akiyo_yahoo.co.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	ドイツ語の初級文法を身につけ、単純な表現であれば理解し、自分でも表現できるようになることが第一のねらいです。 さらに、言語学習を単なる試験科目としてではなく、異文化との関わりや他者理解(あるいは自己理解)についての基本的視座を形成するための有力な手段と捉え、積極的に取り組めるようになってもらいたいと考えてます。		
授業到達目標/Course goals	ドイツ語文法の基本的かつ重要な基礎を身に付ける。課外の自習や今後勉強を続ける場合に自分で調べ、考えることができるようになるための下地を作る。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	共通テスト3割・定期テスト7割で評価します。 定期テストの7割分に関しては、授業への取り組みや指定を守っているか(提出物等)によって加減します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	森公成、渡辺広佐『クヴェレ・ドイツ文法』(同学社)。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	特にありませんが、紙媒体・電子は問いませんので独和辞典を毎回持参してください。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	上にも書いていますが、間違いや失敗は恐らなくて大丈夫です。 授業内容に関する直接の質問のほかにも、不安なことがあれば抱え込まずに相談してください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第7課(話法の助動詞等)
第2回	第7課続き(未来形等)
第3回	第8課(分離動詞・非分離動詞等)
第4回	第8課続き(再帰、非人称主語es等)
第5回	第9課(形容詞の語尾等)
第6回	第9課続き(形容詞の語尾、形容詞の名詞化等)
第7回	第9課続き(形容詞の比較変化等)
第8回	第10課(動詞の3基本形等)
第9回	第10課続き(動詞の過去人称変化等)
第10回	第11課(完了形等)
第11回	第11課続き(完了形等)
第12回	第12課(受動態等)
第13回	第12課続き(zu不定詞、分詞等)
第14回	第13課(指示代名詞、関係代名詞等)
第15回	第13課続き(関係代名詞等)
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590019006	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (M4~M6) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	目 正勝 / Satuka Masakatu		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Target students	M4?6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mksakka xqb.biglobe.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問等はメールで随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	(ドイツ語共通シラバスから) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、ほぼすべての初級文法事項を理解する(接続法も含む)。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な発音で読める。 ・初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。 ・簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	共通試験(30%)、定期試験(約70%)、および平素の学習成績、授業への参加状況を考慮して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「新生ドイツ語文法 V6」 在間 進 著、朝日出版社		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第9課、分離動詞、再帰代名詞など		

第2回	第9課の続き、再帰動詞、練習問題
第3回	第10課、zu不定詞など
第4回	第10課の続き、zu不定詞句の用法、練習問題
第5回	第11課、動詞の三基本形、過去人称変化など
第6回	第11課の続き、接続詞、練習問題
第7回	第12課、現在完了、過去完了など
第8回	第12課の続き、枠構造、練習問題
第9回	第13課、受動態など
第10回	第13課の続き、状態受動、練習問題
第11回	第14課、比較表現、練習問題
第12回	第15課、関係代名詞など
第13回	第15課の続き、関係文、練習問題
第14回	第16課、接続法、接続法第一式など
第15回	第16課の続き、接続法第二式、練習問題
第16回	後期末試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590019007	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (T1~T5) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	古賀 正之 / Koga Masayuki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Target students	1?T5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2077/2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日昼休み及び授業前後 (教室内のみ)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Course goals	ドイツ語 Uで学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	統一試験 (30%)、定期試験 (30%)、平常点 (40%)。なお平常点は、授業への参加状況、自発的な学習の結果から算定する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	次回の授業で取り扱うドイツ語表現の意味を調べ、覚えておくこと。 今回の授業で学んだ項目を含む「基本文法確認レポート」を次回までに完成しておくこと。 次回の小テストの試験範囲の内容を復習しておくこと。		
キーワード / Key word	文法説明 表現練習 対話形式		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 前期ドイツ語 Tのクラスで使用した教科書を継続します。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	このクラスでは通常メールや電話で学生と担当教員が個別に連絡を取り合うことはありません。用件は教室内で直接教員に伝えるか、緊急の場合はまず上記教養教育事務室まで連絡して下さい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	前置詞 (1) 3格支配の前置詞・4格支配の前置詞		

第2回	前置詞（2） 3 + 4 格支配の前置詞・前置詞と定冠詞の融合
第3回	前置詞（3） 前置詞と共に使われる動詞・2 格支配の前置詞
第4回	分離動詞 分離動詞と非分離動詞・枠構造
第5回	接続詞 従属接続詞と並列接続詞・副文
第6回	話法の助動詞（1） 話法の助動詞の種類と用法・manの使い方
第7回	話法の助動詞（2） 話法の助動詞の種類と用法・未来形
第8回	動詞の3 基本形・過去形 過去形と過去分詞の作り方・過去形の使い方
第9回	現在完了形（1） 現在完了形の作り方・haben支配とsein支配
第10回	現在完了形（2） 現在完了形の使い方
第11回	受動文 受動態の作り方と使い方・状態受動
第12回	再帰代名詞 再帰代名詞と再帰動詞
第13回	zu不定詞 zu不定詞の語順と用法
第14回	形容詞・比較表現（1） 形容詞の3 つの用法・形容詞の格変化
第15回	形容詞・比較表現（2） 比較表現（比較級と最上級）
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590019008	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (M1~M3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	目 正勝 / Satuka Masakatu		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Target students	M1?3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mksakka xqb.biglobe.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問等はメールで随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	(ドイツ語共通シラバスから) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、ほぼすべての初級文法事項を理解する(接続法も含む)。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な発音で読める。 ・初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。 ・簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	共通試験(30%)、定期試験(約70%)、および平素の学習成績、授業への参加状況を考慮して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「新生ドイツ語文法 V6」 在間 進 著、朝日出版社		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第9課、分離動詞、再帰代名詞など		

第2回	第9課の続き、再帰動詞、練習問題
第3回	第10課、zu不定詞など
第4回	第10課の続き、zu不定詞句の用法、練習問題
第5回	第11課、動詞の三基本形、過去人称変化など
第6回	第11課の続き、接続詞、練習問題
第7回	第12課、現在完了、過去完了など
第8回	第12課の続き、枠構造、練習問題
第9回	第13課、受動態など
第10回	第13課の続き、状態受動、練習問題
第11回	第14課、比較表現、練習問題
第12回	第15課、関係代名詞など
第13回	第15課の続き、関係文、練習問題
第14回	第16課、接続法、接続法第一式など
第15回	第16課の続き、接続法第二式、練習問題
第16回	後期末試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590019009	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (T6~T10) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	古賀 正之 / Koga Masayuki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Target students	T6?T10		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2077/2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日昼休み及び授業前後 (教室内のみ)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Course goals	ドイツ語 Uで学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	統一試験 (30%)、定期試験 (30%)、平常点 (40%)。なお平常点は、授業への参加状況、自発的な学習の結果から算定する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	次回の授業で取り扱うドイツ語表現の意味を調べ、覚えておくこと。 今回の授業で学んだ項目を含む「基本文法確認レポート」を次回までに完成しておくこと。 次回の小テストの試験範囲の内容を復習しておくこと。		
キーワード / Key word	文法説明 表現練習 対話形式		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 前期ドイツ語 Tのクラスで使用した教科書を継続します。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	このクラスでは通常メールや電話で学生と担当教員が個別に連絡を取り合うことはありません。用件は教室内で直接教員に伝えるか、緊急の場合はまず上記教養教育事務室まで連絡して下さい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	前置詞 (1) 3格支配の前置詞・4格支配の前置詞		

第2回	前置詞（2） 3 + 4 格支配の前置詞・前置詞と定冠詞の融合
第3回	前置詞（3） 前置詞と共に使われる動詞・2 格支配の前置詞
第4回	分離動詞 分離動詞と非分離動詞・枠構造
第5回	接続詞 従属接続詞と並列接続詞・副文
第6回	話法の助動詞（1） 話法の助動詞の種類と用法・manの使い方
第7回	話法の助動詞（2） 話法の助動詞の種類と用法・未来形
第8回	動詞の3 基本形・過去形 過去形と過去分詞の作り方・過去形の使い方
第9回	現在完了形（1） 現在完了形の作り方・haben支配とsein支配
第10回	現在完了形（2） 現在完了形の使い方
第11回	受動文 受動態の作り方と使い方・状態受動
第12回	再帰代名詞 再帰代名詞と再帰動詞
第13回	zu不定詞 zu不定詞の語順と用法
第14回	形容詞・比較表現（1） 形容詞の3 つの用法・形容詞の格変化
第15回	形容詞・比較表現（2） 比較表現（比較級と最上級）
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590021001	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11319_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2T1~2T5) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Target students	2T1?2T5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamatetsu mrd.biglobe.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	1校時、2校時後の休み時間、及び昼休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	ドイツの文化、習慣、環境問題などをドイツ人の会話を通して知る。		
授業到達目標/Course goals	この授業でドイツの生活・文化を理解し、ドイツに興味を持ち、ドイツ旅行の際に、言葉に不自由しないこと。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	小テスト (50%)、定期試験 (50%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	何度も発音すればするほどドイツ語は身につきます。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	『スツェーネン 2』 場面で学ぶドイツ語 著者: 佐藤修子 他、(株)三修社		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	映像で同世代のドイツの若者達の生活を見る。ドイツ語で自己紹介。		
第2回	自分の1日の生活をドイツ語で表現する。		

第3回	列車の旅。時刻表の見方。
第4回	レストランで注文する。
第5回	食事代を支払う。
第6回	2回から5回までの復習
第7回	郵便局はどこにありますか。
第8回	この近くにスーパーはありますか。
第9回	日本への手紙はいくらですか。
第10回	そちらの天気はどうですか。
第11回	7回から10回までの復習
第12回	誕生日に何をプレゼントしますか。
第13回	カメラ店で。
第14回	ドイツの祝日。
第15回	12回から14回までの復習
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590021002	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11319_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2M1~2M3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Target students	2M		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamatetsu mrd.biglobe.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	ドイツの文化・習慣・環境問題などをドイツ語会話を通して理解する。		
授業到達目標/Course goals	1年で習得したドイツ語文法に基づき、日常の場面に応じた会話を自らのドイツ語で表現すること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	小テスト (50%)、定期試験 (50%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	何度も発音すればするほどドイツ語は身につきます。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	『スウェーデン 2』 場面学ぶドイツ語 著者: 佐藤修子 他、(株)三修社		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	独和辞典持参。古本でもかまいません。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	ドイツ語を通してヨーロッパへ目を向けよう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ドイツの映像を見ます。ドイツ語文法の簡単な復習。自己紹介とその質疑応答。		
第2回	旅行と交通。列車時刻表の見方。		

第3回	列車の発車・到着時刻を尋ねる。
第4回	駅で切符を買う。
第5回	レストランで食事を注文する。
第6回	日本と違うレストランでの支払。
第7回	ホテルを探す、予約する。
第8回	街中で道を尋ねる。
第9回	ユーロに両替をする。日本への切手を買う。
第10回	ヨーロッパの天気について話す。
第11回	週末に何をしたかを尋ねる。
第12回	病状の表現。
第13回	薬局で薬を買う。
第14回	会社に病気で出勤できないと伝える。
第15回	いつ誰に何をプレゼントするかを話す。
第16回	プレゼントを買う。総復習。

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590021003	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11319_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2T6~2T10) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	村上 浩明 / Murakami Hiroaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	村上 浩明 / Murakami Hiroaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	村上 浩明 / Murakami Hiroaki		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	murakami tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	初年次に学んだドイツ語の基礎知識を、会話、聴解、読解、作文等の総合練習を通して定着させ、実践的語学力に高める。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・場面に応じた会話表現を練習することで、ドイツ語での初歩的な会話ができるようになる。 ・ドイツ語の構造を理解し、ドイツ語テキストの正確な読解ができるようになる。 ・語彙・表現を増やし、主に日常をテーマとしたドイツ語の作文ができるようになる。 ・日独の文化的特性を知ること、異なる文化的背景を持つ人々と積極的に関わられるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	平素の学習(授業への積極的参加、小テスト、中間テストなど)50%、定期試験(筆記試験)50%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【事前学習】 ・教科書各課の最後にある文法の説明を参照して、初年度で学んだ文法を復習しておく。 ・指示された教科書の範囲を辞書を用いながら予習する。 【事後学習】 ・授業で練習した会話を自宅でも繰り返し音読して暗唱する。 ・授業で扱ったテーマを自分で調べ、理解を深める。		
キーワード/Key word	実践的ドイツ語力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	・清野智昭『ドイツ語の時間<ときめきミュンヘン>コミュニカティブ版一マルチメディアー』、2016年、朝日出版社(「ドイツ語の時間」は同名のシリーズがたくさんあります。「ミュンヘン」と書かれた赤い表紙のものをご購入してください。) ・独和辞典		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ではペア/グループで様々な演習を行いますので、積極的な態度で授業に臨んでください。 ・疑問点は遠慮なくその場で質問してください。 ・語学はとにかく声に出して学ぶことが肝心です。間違いを恐れず、積極的な発言を期待しています。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業のオリエンテーション、発音規則の復習、Lektion 1 (自己紹介)
第2回	小テスト、Lektion 2 (家族の紹介)
第3回	Lektion 2 (家族の紹介)
第4回	小テスト、Lektion 3 (趣味)
第5回	Lektion 3 (趣味)
第6回	小テスト、Lektion 4 (交通手段や所要時間)
第7回	Lektion 4 (交通手段や所要時間)
第8回	中間テスト、Lektion 5 (体調、時刻、1日の予定)
第9回	Lektion 5 (体調、時刻、1日の予定)
第10回	小テスト、Lektion 6 (買い物、人に勧める)
第11回	Lektion 6 (買い物、人に勧める)
第12回	小テスト、Lektion 7 (道の尋ね方、住まい)
第13回	Lektion 7 (道の尋ね方、住まい)
第14回	小テスト、Lektion 7 (道の尋ね方、住まい)
第15回	まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590021004	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11319_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2D1・2D2_2K1~2K3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	村上 浩明 / Murakami Hiroaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	村上 浩明 / Murakami Hiroaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	村上 浩明 / Murakami Hiroaki		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	murakami tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	初年次に学んだドイツ語の基礎知識を、会話、聴解、読解、作文等の総合練習を通して定着させ、実践的語学力に高める。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・場面に応じた会話表現を練習することで、ドイツ語での初歩的な会話ができるようになる。 ・ドイツ語の構造を理解し、ドイツ語テキストの正確な読解ができるようになる。 ・語彙・表現を増やし、主に日常をテーマとしたドイツ語の作文ができるようになる。 ・日独の文化的特性を知ること、異なる文化的背景を持つ人々と積極的に関わられるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	平素の学習(授業への積極的参加、小テスト、中間テストなど)50%、定期試験(筆記試験)50%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【事前学習】 ・教科書各課の最後にある文法の説明を参照して、初年度で学んだ文法を復習しておく。 ・指示された教科書の範囲を辞書を用いながら予習する。 【事後学習】 ・授業で練習した会話を自宅でも繰り返し音読して暗唱する。 ・授業で扱ったテーマを自分で調べ、理解を深める。		
キーワード/Key word	実践的ドイツ語力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	・清野智昭『ドイツ語の時間<ときめきミュンヘン>コミュニカティブ版一マルチメディアー』、2016年、朝日出版社(「ドイツ語の時間」は同名のシリーズがたくさんあります。「ミュンヘン」と書かれた赤い表紙のものをご購入してください。) ・独和辞典		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ではペア/グループで様々な演習を行いますので、積極的な態度で授業に臨んでください。 ・疑問点は遠慮なくその場で質問してください。 ・語学はとにかく声に出して学ぶことが肝心です。間違いを恐れず、積極的な発言を期待しています。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業のオリエンテーション、発音規則の復習、Lektion 1 (自己紹介)
第2回	小テスト、Lektion 2 (家族の紹介)
第3回	Lektion 2 (家族の紹介)
第4回	小テスト、Lektion 3 (趣味)
第5回	Lektion 3 (趣味)
第6回	小テスト、Lektion 4 (交通手段や所要時間)
第7回	Lektion 4 (交通手段や所要時間)
第8回	中間テスト、Lektion 5 (体調、時刻、1日の予定)
第9回	Lektion 5 (体調、時刻、1日の予定)
第10回	小テスト、Lektion 6 (買い物、人に勧める)
第11回	Lektion 6 (買い物、人に勧める)
第12回	小テスト、Lektion 7 (道の尋ね方、住まい)
第13回	Lektion 7 (道の尋ね方、住まい)
第14回	小テスト、Lektion 7 (道の尋ね方、住まい)
第15回	まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590021005	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11319_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2E1~2E6_2F2・2F3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kiyohara_akiyo_yahoo.co.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	作文練習問題を通しての語彙や語感の定着を目指す、またドイツ語のみならず日本語や英語との比較も通じて各言語の特徴や発想法の違い等についての関心や理解を育てる。		
授業到達目標/Course goals	まだ理解・定着していないドイツ語の基礎文法事項を確認して解消すること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	基本的に定期テストの点数で評価します。 しかし授業への取り組み方を見て評点を多少加減する場合がありますので注意してください。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	大岩信太郎 『Deutsche Satz?bungen f?r Anf?nger (はじめての独作文)』 (朝日出版社)。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	特にありませんが、紙媒体・電子は問いませんので独和辞典を毎回持参してください。 (定期試験では辞書の持込を許可します。普段から辞書を使うことに慣れておいてください。) 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	上にも書いていますが、間違いや失敗は恐らなくて大丈夫です。 授業内容に関する直接の質問のほかにも、不安なことがあれば抱え込まずに相談してください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業の説明、名詞の性と数		

第2回	動詞の現在形(1)
第3回	定冠詞と名詞の格変化(定冠詞類)
第4回	定動詞の位置(1)
第5回	動詞の現在形(2)
第6回	動詞の現在形(3)
第7回	定動詞の位置(2)
第8回	不定冠詞と不定冠詞類(名詞の複数形)
第9回	疑問代名詞
第10回	人称代名詞
第11回	前置詞(1)
第12回	前置詞(2)
第13回	前置詞(3)
第14回	分離動詞
第15回	過去形
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590021006	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11319_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2G1~2G3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	竹田 桜 / Sakura Takeda		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Target students	2G1~2G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka@gmail.com(メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前夜		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	ドイツ語I・IIで学んだ知識を定着させ、より発展的な内容の読解、聴解、作文、会話の力をつける。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わる、正しい発音を身につける。 ・初歩的な文法規則を使って日常生活に必要な表現や文が運用できる。 ・初級~中級レベルのテキストを理解でき、日本語に訳すことができるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons(1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	各回の取り組み(小テスト、授業参加度) 30% 課題(音読) 20% 定期試験 50%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	(事前学習) 読解を基礎とした教科書を使用しますので、事前の予習は必須です。指示された範囲を見て、内容を把握し、疑問点を明らかにしておくこと。また、付属のCDを利用して音読の練習をすること。 (事後学習) 小テストは毎回行う予定ですが、既習の授業内容を問うものになります。しっかりと復習を行ってください。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	三ッ石祐子(他)『CD(MP3)付き ファウストとメフィストと学ぶドイツ文化8章 プラス・エクストラ』三修社(2016)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	<ul style="list-style-type: none"> ・やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。 ・独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。 		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に教科書に沿って授業を行います。皆さんの理解度等を見て進め方を変更する場合もあります。 ・正しい発音を習得するため、音読を頻繁に行います。成績評価における「課題」は音読をテーマとする予定です。詳しくは第一回の授業で指示します。 ・授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業オリエンテーション 発音の復習 Kapitel 0: Hallo!
第2回	Kapitel 1: Deutschland @
第3回	Kapitel 1: Deutschland A
第4回	Kapitel 1: Deutschland B
第5回	Kapitel 2: Reisen mit Zug und Fahrrad @
第6回	Kapitel 2: Reisen mit Zug und Fahrrad A
第7回	Kapitel 2: Reisen mit Zug und Fahrrad B
第8回	Kapitel 2: Reisen mit Zug und Fahrrad C 前半のまとめ 課題練習
第9回	Kapitel 3: Aus dem Maerchenwald @
第10回	Kapitel 3: Aus dem Maerchenwald A
第11回	Kapitel 3: Aus dem Maerchenwald B
第12回	Kapitel 4: Wien @
第13回	Kapitel 4: Wien A
第14回	Kapitel 4: Wien B
第15回	Kapitel 4: Wien C 後半のまとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590021007	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11319_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2L1~2L3_2P1・2P2_2F1) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	目 正勝 / Satuka Masakatu		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Target students	2L1?3, 2F1?3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mksakka xqb.biglobe.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー/Office hours	mksakka xqb.biglobe.ne.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語文法の基礎をさらに確実なものにしなが、応用段階へと進む。 ・多くのドイツ語文を読んで、読解力や語彙を身につける。また、正しい発音で文章を朗読することができるようになること。 ・ドイツの社会事情、歴史や文化への理解を深める。 		
授業到達目標/Course goals	報告文、物語文など、現代ドイツ語の文章で特に難解なものだけでなく、辞書を引きながらでも読むことができるまでに力をつけること。また、簡単な作文がドイツ語で書けること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<ul style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	「ドイツ語の時間 ―読解編― <読めると楽しい>」 清野智明、須藤温子、曾田素子 著、朝日出版社		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1課、発音練習と文法の確認。「黄金仮面の秘密」(T)および補足テキストの朗読と練習問題。		

第2回	第1課の続き、「黄金仮面の秘密」(T) および補足テキストの和訳と練習問題(動詞の現在人称変化など)。
第3回	第2課、「黄金仮面の秘密」(U) および補足テキストの朗読と和訳
第4回	第2課の続き、和訳と練習問題(名詞の格変化など)。
第5回	第3課、「黄金仮面の秘密」(V) および補足テキスト朗読と和訳。
第6回	第3課の続き、和訳と練習問題(不規則動詞の現在人称変化など)。
第7回	第4課、「黄金仮面の秘密」(W) および補足テキストの朗読と和訳。
第8回	第4の続き、和訳と練習問題(前置詞、副文など)。
第9回	第5課、「黄金仮面の秘密」(X) および補足テキストの朗読と和訳。
第10回	第5課の続き、和訳と練習問題(再帰動詞、esの用法)。
第11回	第6課、「黄金仮面の秘密」(Y) および補足テキストの朗読と和訳。
第12回	第6課の続き、和訳と練習問題(定冠詞類、不定冠詞類など)。
第13回	第7課、「黄金仮面の秘密」(Z) および補足テキストの朗読と和訳。
第14回	第7課の続き、和訳と練習問題(zu不定詞句など)。
第15回	第7課の続き、和訳と練習問題(分離動詞など)。
第16回	前期末試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/28		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590023001	科目番号 / Subject code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11419_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2T1~2T5) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Target students	2T1~2T5		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yamatetsu mrd.biglobe.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	ドイツの文化・習慣・環境問題などをドイツ語会話を通して理解する。		
授業到達目標 / Course goals	1年で習得したドイツ語文法に基づき、日常の場面に応じた会話を自らのドイツ語で表現すること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	小テスト (50%)、定期試験 (50%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	何度も発音すればするほどドイツ語は身につく		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	『スツェーネン 2』 場面で学ぶドイツ語 著者: 佐藤修子 他、(株)三修社		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	独和辞典持参。古本でもかまいません。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	ドイツ語を通してヨーロッパへ目を向けよう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ドイツの映像を見る。前期の復習。		
第2回	服装の好みを話す。		

第3回	服を買う。
第4回	ゴミの分別。
第5回	エネルギーの節約。
第6回	学校の環境プロジェクト。
第7回	公共の場所で禁止・許可されていること。
第8回	何歳で何ができるか。18歳で飲酒。
第9回	教育制度について。
第10回	卒業資格と職業。
第11回	職業相談所で。
第12回	ドイツの祝日はほとんどがキリスト教に関係している。
第13回	イースターについて。
第14回	クリスマスとアトベント。
第15回	ドイツと日本の年末年始。
第16回	総復習。

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/28		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590023002	科目番号 / Subject code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11419_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2M1~2M3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Target students	2M(独1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamatetsu mrd.biglobe.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	ドイツの文化、習慣、環境問題などをドイツ人の会話を通して知る。		
授業到達目標/Course goals	学生がこの授業でドイツの生活・文化を理解し、ドイツに興味を持ち、ドイツへ留学したいと思えるようになること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	小テスト (40%)、定期試験 (50%)、授業中の発音・和訳・積極性 (10%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	『スツェーネン 2』 場面学ぶドイツ語 著者: 佐藤修子 他、(株)三修社		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1回 パーティーには何を着ますか。		
第2回	第2回 この白いワンピースをどう思いますか		

第3回	第3回 このゴミはどこに捨てますか
第4回	第4回 ドイツの学校の環境プロジェクト
第5回	第5回 ここで犬を放してはいけません
第6回	第6回 何歳になれば、何ができますか
第7回	第7回 ドイツの義務教育は何年ですか
第8回	第8回 パン屋になるためには、大学へ行く必要はありません
第9回	第9回 ドイツの学校
第10回	第10回 復活祭には何をしますか
第11回	第11回 ドイツの祭りや祝日
第12回	第12回 カーニバル
第13回	第13回 ドイツと日本の年末年始
第14回	第14回 「アドヴェント」とはどういう意味ですか
第15回	第15回 ビデオでドイツを見る
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590023003	科目番号 / Subject code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11419_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2T6~2T10) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	村上 浩明 / Murakami Hiroaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	村上 浩明 / Murakami Hiroaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	村上 浩明 / Murakami Hiroaki		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	murakami tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	今までに学んだドイツ語の基礎知識を、会話、聴解、読解、作文等の総合練習を通して定着させ、実践的語学力に高める。		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・場面に応じた会話表現を練習することで、ドイツ語での初歩的な会話ができるようになる。 ・ドイツ語の構造を理解し、ドイツ語テキストの正確な読解ができるようになる。 ・語彙・表現を増やし、主に日常をテーマとしたドイツ語の作文ができるようになる。 ・日独の文化的特性を知ること、異なる文化的背景を持つ人々と積極的に関わられるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	平素の学習 (授業への積極的参加、小テスト、中間テストなど) 50%、定期試験 (筆記試験) 50%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	【事前学習】 ・教科書各課の最後にある文法の説明を参照して、初年度で学んだ文法を復習しておく。 ・指示された教科書の範囲を辞書を用いながら予習する。 【事後学習】 ・授業で練習した会話を自宅でも繰り返し音読して暗唱する。 ・授業で扱ったテーマを自分で調べ、理解を深める。		
キーワード / Key word	実践的ドイツ語力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	・清野智昭『ドイツ語の時間<ときめきミュンヘン>コミュニカティブ版一マルチメディアー』、2016年、朝日出版社 (「ドイツ語の時間」は同名のシリーズがたくさんあります。「ミュンヘン」と書かれた赤い表紙のものをご購入してください。)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ではペア/グループで様々な演習を行いますので、積極的な態度で授業に臨んでください。 ・疑問点は遠慮なくその場で質問してください。 ・語学はとにかく声に出して学ぶことが肝心です。間違いを恐れず、積極的な発言を期待しています。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	復習、Lektion 8 (自分の体験を語る)
第2回	小テスト、Lektion 8 (自分の体験を語る)
第3回	Lektion 8 (自分の体験を語る)
第4回	小テスト、Lektion 9 (注文をする)
第5回	Lektion 9 (注文をする)
第6回	小テスト、Lektion 10 (比較表現)
第7回	Lektion 10 (比較表現)
第8回	中間テスト、Lektion 11 (さまざまな形容詞)
第9回	Lektion 11 (様々な形容詞)
第10回	小テスト、Lektion 11 (様々な形容詞)
第11回	Lektion 12 (仮定表現)
第12回	小テスト、Lektion 12 (仮定表現)
第13回	Lektion 12 (仮定表現)
第14回	小テスト、まとめ(1)
第15回	まとめ(2)
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590023004	科目番号 / Subject code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11419_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2D1・2D2_2K1~2K3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	村上 浩明 / Murakami Hiroaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	村上 浩明 / Murakami Hiroaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	村上 浩明 / Murakami Hiroaki		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	murakami tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	今までに学んだドイツ語の基礎知識を、会話、聴解、読解、作文等の総合練習を通して定着させ、実践的語学力に高める。		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・場面に応じた会話表現を練習することで、ドイツ語での初歩的な会話ができるようになる。 ・ドイツ語の構造を理解し、ドイツ語テキストの正確な読解ができるようになる。 ・語彙・表現を増やし、主に日常をテーマとしたドイツ語の作文ができるようになる。 ・日独の文化的特性を知ること、異なる文化的背景を持つ人々と積極的に関わられるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	平素の学習 (授業への積極的参加、小テスト、中間テストなど) 50%、定期試験 (筆記試験) 50%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	【事前学習】 ・教科書各課の最後にある文法の説明を参照して、初年度で学んだ文法を復習しておく。 ・指示された教科書の範囲を辞書を用いながら予習する。 【事後学習】 ・授業で練習した会話を自宅でも繰り返し音読して暗唱する。 ・授業で扱ったテーマを自分で調べ、理解を深める。		
キーワード / Key word	実践的ドイツ語力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	・清野智昭『ドイツ語の時間<ときめきミュンヘン>コミュニカティブ版一マルチメディアー』、2016年、朝日出版社 (「ドイツ語の時間」は同名のシリーズがたくさんあります。「ミュンヘン」と書かれた赤い表紙のものをご購入してください。)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ではペア/グループで様々な演習を行いますので、積極的な態度で授業に臨んでください。 ・疑問点は遠慮なくその場で質問してください。 ・語学はとにかく声に出して学ぶことが肝心です。間違いを恐れず、積極的な発言を期待しています。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	復習、Lektion 8 (自分の体験を語る)
第2回	小テスト、Lektion 8 (自分の体験を語る)
第3回	Lektion 8 (自分の体験を語る)
第4回	小テスト、Lektion 9 (注文をする)
第5回	Lektion 9 (注文をする)
第6回	小テスト、Lektion 10 (比較表現)
第7回	Lektion 10 (比較表現)
第8回	中間テスト、Lektion 11 (さまざまな形容詞)
第9回	Lektion 11 (様々な形容詞)
第10回	小テスト、Lektion 11 (様々な形容詞)
第11回	Lektion 12 (仮定表現)
第12回	小テスト、Lektion 12 (仮定表現)
第13回	Lektion 12 (仮定表現)
第14回	小テスト、まとめ(1)
第15回	まとめ(2)
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590023005	科目番号 / Subject code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11419_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2E1~2E6_2F2・2F3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kiyohara_akiyo yahoo.co.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	作文練習問題を通しての語彙や語感の定着を目指す、またドイツ語のみならず日本語や英語との比較も通じて各言語の特徴や発想法の違い等についての関心や理解を育てる。		
授業到達目標/Course goals	まだ理解・定着していないドイツ語の基礎文法事項を確認して解消すること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	基本的に定期テストの点数で評価します。 しかし授業への取り組み方を見て評点を多少加減する場合があるので注意してください。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	大岩信太郎『Deutsche Satz?bungen f?r Anf?nger (はじめての独作文)』(朝日出版社)。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	特にありませんが、紙媒体・電子は問いませんので独和辞典を毎回持参してください。 (定期試験では辞書の持込を許可します。普段から辞書を使うことに慣れておいてください。)		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	上にも書いていますが、間違いや失敗は恐らなくて大丈夫です。 授業内容に関する直接の質問のほかにも、不安なことがあれば抱え込まずに相談してください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	現在完了形・過去完了(未来形・未来完了)		

第2回	形容詞の格変化
第3回	受動
第4回	zu不定詞[句]
第5回	比較
第6回	非人称
第7回	話法の助動詞(1)
第8回	話法の助動詞(2)
第9回	関係代名詞
第10回	指示代名詞
第11回	再帰代名詞
第12回	命令法・分詞
第13回	要求話法
第14回	非現実話法
第15回	間接話法
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590023006	科目番号 / Subject code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11419_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2G1~2G3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	竹田 桜 / Sakura Takeda		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Target students	2G1-2G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka@gmail.com(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	既習の知識を定着させ、より発展的な内容の読解、聴解、作文、会話の力をつける。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わる、正しい発音を身につける。 ・これまでに学んだ知識を前提に、簡単な会話や文章が理解できる。 ・基本的なドイツ語を理解し、ほとんどの身近な場面に対応できる。 ・初級~中級レベルのテキストを理解でき、日本語に訳すことができるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons(1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	各回の取り組み(小テスト、授業参加度) 30% 課題(口頭発表) 30% 定期試験 40%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	(事前学習) 読解を基礎とした教科書を使用しますので、事前の予習は必須です。指示された範囲を見て、内容を把握し、疑問点を明らかにしておくこと。また、付属のCDを利用して音読の練習をすること。 (事後学習) 小テストは毎回行う予定ですが、既習の授業内容を問うものになります。しっかりと復習を行ってください。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	三ツ石祐子(他)『CD(MP3)付き ファウストとメフィストと学ぶドイツ文化8章 プラス・エクストラ』三修社(2016)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	<ul style="list-style-type: none"> ・やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。 ・独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。 		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に教科書に沿って授業を行います。皆さんの理解度等を見て進め方を変更する場合もあります。 ・正しい発音を習得するため、音読を頻繁に行います。成績評価における「課題」は口頭発表をしてもらう予定ですが、ここでも発音が評価の対象となります。詳しくは第一回の授業で指示します。 ・授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。
--------------------------------	---

授業計画詳細 / Course Schedule

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業オリエンテーション Kapitel 5: Welterbe @
第2回	Kapitel 5: Welterbe A
第3回	Kapitel 5: Welterbe B
第4回	Kapitel 6: Deutschland, Land der Ideen @
第5回	Kapitel 6: Deutschland, Land der Ideen A 課題練習
第6回	Kapitel 6: Deutschland, Land der Ideen B
第7回	前半のまとめ Kapitel 7: Es war einmal die DDR @
第8回	Kapitel 7: Es war einmal die DDR A
第9回	Kapitel 7: Es war einmal die DDR B
第10回	Kapitel 8: Rund um die Neunte @
第11回	Kapitel 8: Rund um die Neunte A
第12回	Kapitel 8: Rund um die Neunte B
第13回	Extra: Feste und Feiertage @
第14回	Extra: Feste und Feiertage A
第15回	Extra: Feste und Feiertage B 後半のまとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590023007	科目番号 / Subject code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11419_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2L1~2L3_2P1・2P2_2F1) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	目 正勝 / Satuka Masakatu		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Target students	2L1?3, 2F1?3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mksakka xqb.biglobe.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー/Office hours	mksakka xqb.biglobe.ne.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語文法の基礎をさらに確実なものにしなが、応用段階へと進む。 ・多くのドイツ語文を読んで、読解力や語彙を身につける。また、正しい発音で文章を朗読することができるようになること。 ・ドイツの社会事情、歴史や文化への理解を深める。 		
授業到達目標/Course goals	報告文、物語文など、現代ドイツ語の文章で特に難解なものだけでなく、辞書を引きながらでも読むことができるまでに力をつけること。また、簡単な作文がドイツ語で書けること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	「ドイツ語の時間 ―読解編― <読めると楽しい>」 清野智明、須藤温子、曾田素子 著、朝日出版社		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第8課、「黄金仮面の秘密」()および補足テキストの朗読と和訳。		
第2回	第8課の続き、和訳と練習問題(話法の助動詞など)。		

第3回	第8課の続き、和訳と練習問題（未来形など）。
第4回	第9課、「黄金仮面の秘密」（　＼　）および補足テキストの朗読と和訳。
第5回	第9課の続き、和訳と練習問題（動詞の三基本形など）。
第6回	第9課の続き、和訳と練習問題（現在完了など）。
第7回	第10課、「黄金仮面の秘密」（　］　）および補足テキストの朗読と和訳。
第8回	第10課の続き、和訳と練習問題（形容詞の用法など）。
第9回	第10課の続き、和訳と練習問題（比較級と最上級など）。
第10回	第11課、「黄金仮面の秘密」（　］　Ｔ　）および補足テキストの朗読と和訳。
第11回	第11課の続き、和訳と練習問題（関係代名詞など）。
第12回	第11課の続き、和訳と練習問題（命令形など）。
第13回	第12課、「黄金仮面の秘密」（　］　Ｕ　）および補足テキストの朗読と和訳。
第14回	第12課の続き、和訳と練習問題（接続法など）。
第15回	第12課の続き、和訳と練習問題（接続法の用法）。
第16回	後期末試験